

1. 川西市の重点方針
<p>第5次総合計画のめざす都市像である“であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち”の実現に向け、以下の取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気な都市再生プロジェクト 豊かな水と緑共生プロジェクト こころ豊かな子ども育成プロジェクト いきいき健康・長寿プロジェクト 川西の魅力発見・発信プロジェクト

2. 教育振興部のサービス対象者		
〔対象者〕	〔現在の要求・期待〕	〔将来変化〕
幼児・児童・生徒	楽しい学校・幼稚園生活を過ごしたい 勉強 分りたい 体を鍛えたい 進路(先)決定 生き方学習	自己実現、夢の達成
保護者	子どもたちに確かな学力 豊かな心 健全な身体を育み 個に応じた資質の向上と安全の確保	個性を生かした自己実現と社会貢献
社会教育を活用する市民	新しい発見や文化・歴史・自然等を学習する機会の提供	新たな社会の創造に向けた活動機会の提供

3. 教育振興部を取り巻く経営環境
<ul style="list-style-type: none"> ・体罰や不適切な指導など教職員の不祥事の根絶に向けた対応 ・学力の向上を中心とした「生きる力」の育成への対応 ・きめ細やかな学習指導への対応 ・いじめや不登校など、生徒指導上の課題への対応 ・特別支援教育を要する児童生徒の増加への対応 ・保護者や子どものニーズの多様化への対応 ・家庭、地域の教育力への対応を基盤とした学校経営 ・団塊の世代の大量退職に伴う若手教職員の資質向上 ・園児・児童・生徒数の減少への対応 ・公立幼稚園の適正配置への対応 ・市民の学習意欲の増大(団塊世代の大量退職による要因を含む) ・公民館登録グループの活発な活動による社会参加 ・地域貢献・ボランティア意識の醸成 ・市民の参画と協働を支援する学習機会の提供 ・文化財を活用した街づくり

4. 教育振興部がめざす姿
<p>「地域と人の輪がつくる教育の推進」を基本理念とし、5つの基本方針「地域に根ざした教育の推進、未来を切り拓き、強く生き抜く力の育成、互いの存在を認め合い、共に生きる態度の育成、参画と協働を支える社会教育の推進、質の高い安全で安心できる教育環境の整備」に取り組むことにより、めざす人間像「夢に向かい 志をもって未来を切り拓く人」「ふるさと川西に誇りをもち地域や文化、「自然とともに生きる人」「生命と人権を尊重し思いやりと規範意識をもった人」「自ら学び 考え 社会の発展に貢献する人」を実現するための創造性と機動力を持った組織</p>

5. 教育振興部の現状		
(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
<p>学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 ・体験活動の充実と豊かな子どもの育成 ・命を大切に教育の具現化 ・地域に信頼され、支えられる学校・幼稚園づくり ・中学校区における学校園の連携による課題解決 ・ひとしく学べるための教育支援 ・障害児介助員、生活指導相談員の配置 ・食育や保健体育を通じた健康づくり ・食育にかかるとアレルギー対応 学校給食の充実 ・子どもの安全と健全な育成を図る環境整備(耐震化等) ・連合PTAはじめ関係諸団体との連携 ・中学校区における非行防止教室等の定着 ・市民の学ぶ意欲を高める支援 ・生涯学習センター、公民館、中央図書館の機能充実 ・ふるさと川西の文化と歴史の継承 ・加茂遺跡・郷土館・文化財資料館等の活用 	<p>教育推進会議やミーティング等の意見、学習状況調査・アンケート調査等の検証結果を取り入れ、目標設定されたMPについて、目的意識を持ち効率的に取り組んでいる。</p> <p>教育職と行政職の機能的な融合により、多様な発想を生み出す組織である。</p> <p>アンケート(幼児・児童・生徒・保護者)、学校・幼稚園評価、学校・幼稚園関係者評価による検証サイクルを有している。</p> <p>サービス対象者との定期的な会合、専門職員の配置など、意見・要望を受け入れる体制がある。</p> <p>生涯学習センター及び市内10地域に公民館を配置し、多くの講座を開催するなど、市民の参画と協働を支援する学習機会の提供体制が整っている。</p>	<p>市民の満足に向けて</p> <p>若手教員を含む教職員の資質及び指導力の向上を図る必要がある。</p> <p>家庭や地域の教育力の向上を図るため、学校支援地域本部事業や学生ボランティア等の支援体制の拡充が必要である。</p> <p>快適な学習環境の提供に向けて、学校施設、社会教育施設の整備、耐震化及び機能の高度化が必要である。</p> <p>社会教育の成果をまちづくりに活かす実践機会の拡充が必要である。</p> <p>組織体制の改善に向けて</p> <p>教職員の研修体制の強化を図るとともに、事務局においては、全職員への施策、MPの浸透を図り、質的充実を図る必要がある。</p> <p>事業内容により他部署との連携を強化する必要がある。</p> <p>社会教育施設の充実を図るため、社会教育主事や学芸員の配置と育成に取り組む必要がある。</p>

6. 教育振興部の重点目標
<p>(1) 市民満足の向上に向けて</p> <p>施策目標達成に向け、職員における重要施策等の浸透を図るとともに、さらなる職員個々の資質の向上を図り、組織全体の能力をこれまで以上に高める職場づくりを行う。</p> <p>校長会、教育推進会議、室・課等のミーティング等を通じて、学校園や社会教育施設を含めた組織内の連携強化を図り、子どもたちや保護者、市民の信頼確立に努める。</p> <p>(2) 組織体制の改善に向けて</p> <p>教育推進会議を継続的に実施し、組織力向上を図るとともに、室から課へ、課から職員への情報共有の推進を図る。</p>

7. 教育振興部の目標							
指標	H24実績	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	
学習内容を理解していると感じている児童の割合(小6)	80.3%	85.0%					
学習内容を理解していると感じている生徒の割合(中3)	63.7%	68.0%					
学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(小学生)	H24は実施せず	85.0%					
学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(中学生)	"	80.0%					
いじめを受けたことがある子どもの割合(小学生)	"	38.0%					
いじめを受けたことがある子どもの割合(中学生)	"	23.0%					
住んでいる地域の学校の様子を知っている市民の割合	現在集計中	35.0%					
保護者や地域の声为学校運営に反映されていると感じている市民の割合	現在集計中	20.0%					
特別支援教育の充実度	29.7%	80.0%					
不登校児童・生徒の割合	1.1%	0.9%					
小学生肥満児出現率	5.0%	4.0%					
朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(小6)	96.3%	100.0%					
朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(中3)	93.0%	100.0%					
学校・園施設の耐震化率	79.7%	88.1%					
こどもをまもる110番のおうち軒数	2,082件	2,200件					
生涯学習の条件が整備されていると感じている市民の割合	19.3%	20.0%					
過去1年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合	32.3%	35.0%					
川西の歴史に興味がある市民の割合	63.5%	65.0%					
市民満足向上目標	教育広報紙「川西きょういく」、ホームページ、教育委員会だより「笑顔・ときめき」等による教育施策やHPに直結した内容の充実と時宜に合った適切な発信に努め、市民・保護者・子どもたちのニーズに応える。	44回	44回				
組織体制改善に向けた指標	次長級職員対象の教育推進会議はもとより、課長級職員まで対象とした拡大教育推進会議を定期的開催する。月1回実施する中で、常に進捗状況の把握と情報の共有を行い、知恵を出し合い、施策事業(MP)の達成に近づける。	12回	12回				
	施策事業(MP)を達成するために個々の職員及びチームで、より具体的なMP、すなわち、「行動MP」を明確にし、実践を深める。より一層、職場ミーティングの実施と日常からの「ほうれんそう」を徹底・励行する。	毎日実施	毎日実施				